

2026年4月24日

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザサポート

耐量子暗号 (PQC) への移行に伴う PAN-OS ソフトウェアの影響について (第2報)

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザサポートをご利用くださり誠にありがとうございます。この度、Palo Alto Networks 社より耐量子暗号 (PQC) への移行に伴う PAN-OS ソフトウェアの影響についてのお知らせがアナウンスされましたので、以下の通りご連絡いたします。

※ 太字箇所は追記もしくは変更箇所となっております。

1. 概要

Google Chrome 147 のリリースにより、耐量子暗号 (PQC) を無効化する回避策が利用できなくなります。**PA シリーズ (VM シリーズ含む) を、影響を受ける OS バージョンにて影響を受ける構成でご利用されている場合は PAN-OS ソフトウェアのアップグレードをご検討ください。**

2. 対象のお客様と対策バージョン

下記の**影響を受ける OS バージョン**を、**影響を受ける構成**でご利用されているお客様。
なお、Palo Alto Networks 社は Prisma Access のアップグレード対応を進めておりますが、対策の実施は延期となり、5月15日以降に実施を予定している、とのことです。

表 1 対象 OS バージョン

OS バージョン	影響を受ける OS バージョン	対策 OS バージョン
PAN-OS 12.1 [※]	—	全バージョン
PAN-OS 11.2	11.2.4-h4 未満 11.2.5 未満	11.2.4-h4 以上 11.2.5 以上
PAN-OS 11.1	11.1.2-h18 未満 11.1.4-h13 未満 11.1.6-h1 未満 11.1.7 未満	11.1.2-h18 以上 11.1.4-h13 以上 11.1.6-h1 以上 11.1.7 以上
PAN-OS 10.2	10.2.7-h24 未満 10.2.8-h21 未満 10.2.9-h21 未満 10.2.10-h14 未満 10.2.11-h12 未満 10.2.12-h6 未満 10.2.13-h3 未満 10.2.14 未満	10.2.7-h24 以上 10.2.8-h21 以上 10.2.9-h21 以上 10.2.10-h14 以上 10.2.11-h12 以上 10.2.12-h6 以上 10.2.13-h3 以上 10.2.14 以上
PAN-OS 10.1	—	全バージョン

※ PAN-OS 12.1 の最小 OS バージョンは 12.1.2 です。

当該事象の影響を受けるのは、下記の条件を両方とも満たす場合です。

- PA シリーズ (VM シリーズ含む) で SSL フォワードプロキシを設定し、インターネットへのエンドユーザによる TLS ウェブトラフィックを検査している場合。
または「No-Decrypt」ポリシーを使用して証明書チェックのみを適用している場合。
- PQC トラフィックを許可するように設定された Web ブラウザ (例: 管理対象の Enterprise 版、あるいは Education 版 Chrome) を使用している場合。
または、エンドユーザが、TLS Web トラフィックに対して PQC が有効になっている Web ブラウザ (共有の、あるいは管理対象外の Chrome を含む) を自由にインストールできる場合。

3. 影響について

表 1 の対策 OS バージョンへアップグレードを実行しなかった場合、下記影響を受ける可能性があります。

- ・ PA シリーズ (VM シリーズ含む) のパフォーマンス低下。
- ・ エンドユーザのウェブブラウジングセッションにおける接続障害、速度低下、または接続リセット。

4. 解決策

対象のお客様は、表 1 の対策 OS バージョンへのアップグレードをご検討ください。

5. その他特記事項

本トピックの詳細や最新情報については、下記のメーカコミュニティページも併せてご参照ください。

<https://live.paloaltonetworks.com/t5/customer-advisories/securing-quantum-safe-web-browsing/ta-p/1250730>

参照には CSP アカウントを所有している必要があります。

なお、掲載されている以上の情報は開示されておりません。記載内容以上の情報については、弊社サポートではお答え致しかねますことを予めご了承ください。

以上